

介護支援専門員 部会

参加事業所数

54	事業所
----	-----

部会長

氏名	所属事業所
平本 哲也	居宅介護支援センター松林

副部会長

氏名	所属事業所
山崎 宏和	菫園ケアセンター
村松 小百合	訪問介護ステーション友
白髭 辰男	ツクイ茅ヶ崎室田
川口 美幸	湘南シニアサービス
石黒 秀樹	(社福)慶寿会 平和町介護サービスセンター

幹事

氏名	所属事業所
石黒 秀樹	(社福)慶寿会平和町介護サービスセンター
川口 美幸	湘南シニアサービス

活動方針・目標

- ①医療機関(医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院等)との連携をさらに深める
- ②制度改正に合わせた、法令順守とサービスの適正利用の周知
- ③防災対策・孤立高齢者支援等、地域包括ケアシステムの推進に向けて関係機関と共に活動する。
- ④部会内活動内容の共有化と業務平準化を行う。
- ⑤主任介護支援専門員に求められる活動と組織化を行う。
- ⑥他部会・他事業種との連携・情報共有と、研修会等の開催

定例会

- ①部会長、副部会長会議を年2回実施。主任介護支援専門員の集まり「ミーナの会」の協力も得られ進めた。
- ②主任介護支援専門員の集まり「ミーナの会」の活動方針に沿った、会議と研修を年度内数回開催。

活動内容

- ①令和元年度を通じ市や保健所、神奈川県介護支援専門員協会と共に歩み、地域ケア個別会議、ちがさきオレンジ Dayの協力や入退院支援ガイドブックの作成、多職種連携研修など職種を超えた連携が進むように活動した。
- ②神奈川県介護支援専門員協会より「令和2年度に研究大会を茅ヶ崎で開催してほしい」という依頼に併せ、ミーナの会に新たにプロジェクトチームを作り活動した。
- ③ケアマネ虎の巻という新任もベテランも活用できるガイドブックも再編。
- ④年度後半には新型コロナウイルス対応が入り、情報共有や、感染防止の取り組みを実施した。

その他

居宅介護支援事業所で新型コロナウイルスの影響により事業閉鎖などはなかった。また罹患した介護支援専門員もいなかった。
今後新型コロナウイルス対応や自然災害などでの地域での情報共有や協力体制についても皆さんと意見交換が必要と感じた。